

アサギマダラとカマキリ

(2016.10.14 金田 忍)

アサギマダラの最大の天敵は鳥類だと思われ
れます。左右の翅の同じ場所が欠けているアサ
ギマダラをよく見かけますが、ビークマークと
呼ばれていて、鳥の嘴で食いちぎられた痕だと
されています。アサギマダラは毒を持っている
ので、多くの鳥は啜えた途端に毒を感じて放し
ますが、カラスやイソヒヨドリなどは、平気？
で食べているのがテレビで紹介されました。



その次に多く目撃されている天敵は、カマキ
リです。フジバカマの下の地面にアサギマダ
ラの翅が落ちているのを見かけることがあり
ますが、それは多分カマキリの仕業です。



大型のカマキリには二種類あって、オオカマ
キリとハラビロカマキリをよく見かけます。今
回の目撃は、ハラビロカマキリでした。

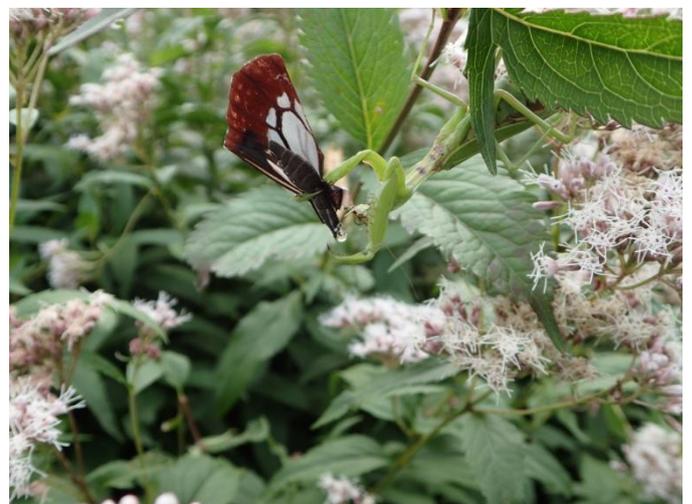


ハラビロカマキリは、チョウなどの昆虫がよ
く来る花の下で獲物が来るのを待っています。

このたびは、ちょうど食べ終わる寸前に発見
することができました。後翅の付け根の部分
をかじっていました。左の手には後翅と腹部を挟
んでいます。



食べ終わると、右手の翅は捨てて、左手の腹
部を食べようとした時、透明な体液が出てき
ました。するとハラビロカマキリは食べるのを止
めて間もなく翅と腹部を捨ててしまいました。



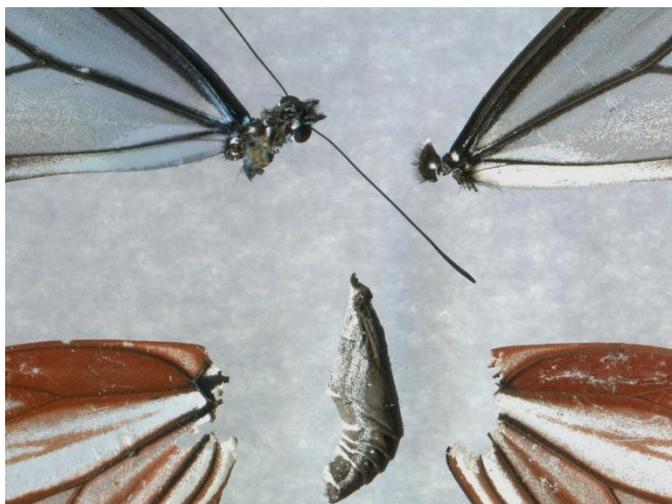
アサギマダラの体は、頭部・胸部・腹部に分かれています。頭部には感覚器官や口器など、胸部には歩いたり飛ぶための筋肉がぎっしり詰まっています、腹部には多くの臓器が収められています。



フジバカマの蜜に含まれている PA(みに必要なアルカロイド・有毒)は、ほとんどの臓器がある腹部に蓄えられているものと思われます。その下を探したら、その他の部分も見つかりました。頭部も脚も食べていません。



カマキリは、アサギマダラの毒には強いのかと思っていましたが、そうではなくて、ほぼ筋肉だけで出来ている胸部しか食べないのかも知れません。



カマキリは草の茎や葉とそっくりの色や形をしているので、なかなか見つけることはできませんが、近くの舗装道路には 20m の間に 3 匹も車に轢かれて死んでいました。案外たくさん棲んでいるのかも知れません。



オオカマキリです。

